

# 赤い靴通信 416号

11月11日に山下公園の「赤い靴はいてた女の子」は生まれてから43年になりました。43、292名これは寄付などで直接建設に協力された方々の人数です。振り返るとその後にも実に大勢の方に出会いお世話になっていくのです。数年前、百歳で逝去された三笠宮崇仁親王殿下は国語学者・金田一春彦先生が除幕式に出席されたことを羨ましく思っておられ「自分も出たかった」と言われたといひます。金田一先生は「会長の松永さんを知って居るのでご紹介しますのでお会いになられたら」と申しあげたら「話を聞くのが楽しみだ」と申されたそうです。その後、金田一先生の会に殿下ご夫妻がお見えになられるとのこと、「その日に来ませんか」と金田一先生からお電話頂き、お会いしたのです。殿下は幼少の頃「童謡の宮様」と呼ばれ、歌詞を多く書かれたと言います。その話になると、はにかんで「そんな大げさなことではないよ。ただそれを「赤い靴」の作曲家・本居長世先生が曲をつけてレコードにしてくれたのよ。だから本居先生は私の恩人よ」と言っておられました。「あなたたちのおかげで「赤い靴」の歌はいつまでも歌われることになってとても嬉しいし、横浜にも人が多く行くようになるでしょう。大切にしてください」と言われました。私は「北海道でご子息の寛仁親王殿下にお会いしてから赤坂のお宅までお邪魔したことがあります」と申しあげたら「寛仁も知って居るの、他人じゃないな」と言われました。憲仁殿下は口ひげが似合って「鬚の宮様」と称されていましたが、北海道の留萌の奉仕団体の式典で宮様と私がお祝辞を述べることがありました。その時以来何回かお電話を頂き、私も宮様に講演のお願いをしておりました。宮様は私の話す講演の言葉をよく使われたそうです。が、「このお話は横浜の友人の春さんの言葉を借りてお話ししました。」と言うのだそうです。宮様は、「やばい」とか「ずらかる」とか一般人が使わない言葉を交えて話すものですから、とても受けていました。横浜の人の家形に今の上皇様ご夫妻がお見えになった時、赤い靴のキーホルダーを差し上げたら「赤い靴の歌」歌えますよと言っておられました。

また、民間の方とご結婚された天皇陛下の妹様・黒田清子さんが横浜そごうの催しに見えた時、ザ・シワクチャーズと赤い靴ジュニアコーラスが合唱でお迎えしたことがありました。ポツンと所在無く立っておられたとき、当時横浜市長であった細郷さんが「松永さん、宮様の話し相手になってあげて」と言われるので、「団長の松永です」と申しましたら「お聞きしたいと思っておりました。このお婆ちゃんたちとお孫さんたちは一緒に歌うことがよくあるのですか？」との質問に私は「よくあります」とお答えしました。「先ほど市長さんから伺ったのですが、童謡赤い靴の像を建てた団体ですってね。私はあの歌が好きで歌っていましたよ」などと気軽に話してくれました。先月、ニュースで愛子さまは20歳になられるお式があった、女性皇族は必ずティアアラを着けるのですが、このような時期でもあるので、サーヤこと黒田さんからお借りするとの報道があります。私にとっても皇族のニュースは身近に感じられ微笑ましく思います。

さて、私たちの親たちの年代は赤い靴の歌にあるように外国人をイジンサンと呼んでいました。ですから歌の中にあるイジンサンを「イー爺さん」とか「人參さん」などと発音していた人もいたことだし、教会

を「イジンデラ」と言ったと聞きます。私の父も山手にある教会を「トンガリヤソ」と言っていました。私の書いた童話「赤い靴」にも載っていて前にも書いたのですが、市役所の広報課から「ヤソはキリスト教の侮蔑の言葉」だから取り消すようにと言われましたので、お詫びの電話をしたところ神父さんは「その素敵なニックネーム私が貰い私が流行らします」と言われました。また、料理家の平野レミさんのお父さんでフランス文学者の平野威馬雄さんは横浜生まれですが、ハマッ子について「ちよっと変わった江戸ッ子的なお先走りである」と著書「横浜市歌誕生のころ」に書いています。何でもすぐに手を出す人のことを言うのだそうです。私は友人の創った女性マナースクールで平野先生と出会って、NHKのプロデューサーたちと当時話題だった「UFOを見た人の会」に入会したのです。私は本当に桜木町のバス停で待っている時見たのです。私の「あ、UFOだ！」の声に並んでいた人たちも騒ぎになったことがありました。平野先生との出会いで私は横浜にさらに大きな関心をもつようになりました。先生は横浜人は進取の気性に富んでいて、言葉にもすぐ反応し、造語を作りそれを広める。灯台のことを「常灯明」、懐中時計は「ケイチヤン」、ガラスは「ギヤマン」、アイスクリームは「アイスクリン」、お前のことは「オーマイ」、駅は「ステンシヨ」、切符は「テケツ」、電信・電話は「テレグラフ」と言うのだと教わりました。昨年2月公演の横浜市民ミュージカル「横浜どんたく」のタイトルですが、「どんたく」はオランダ語で「ゾンタク」と言い日曜日のことです。その日、外国人はバンドを先頭にお国の旗を立てて横浜の街を行進しました。時が経って横浜では毎日曜日の正午には、野毛から「ドン」と号砲が鳴り渡りました。これは私たちの年代まで続きました。そのことを横浜の人は誰言うとも無く半日休みの土曜日のことを「ハンドン」と言ったのです。

さて私は中学で漢文を習ったとき、素晴らしい四文字を発見しました。それは「衆人皆師」という言葉です。「我以外の人、皆我が先生」、は素晴らしい出会いと座右の銘にしています。新しい方と出会うと先生が増えて嬉しいです。

今年も残り少ない日数になりましたね。18日「中区音楽遊々」、24日・25日「クリスマスキャロル」、31日「よこはまメルヘン」と楽しいプログラムが続きます。また新型コロナウイルス・オミクロン株の行方が懸念されますが、引き続き感染予防対策をしながら乗り越えていきましょう。

## 12月18日(金)「~中区音楽遊々~」プログラム

第一部

- ・横浜☆男声合唱団
- ・横浜市民子どもミュージカル
- ・横浜ジパーズ
- ・元町いぶし銀ゴスペル
- ・元町ローゼス
- ・赤い靴ジュニアコーラス(ATF、青隊、赤隊・II)

第二部

- ・音楽劇団まっかなホフト
- 音楽劇「赤い靴の絵本」<脚本・演出・音楽/Pi坊>
- ・琵琶/室井三紀、馬頭琴/美炎の演奏と語り
- 「ひのきとひなげし」作 宮沢賢治
- ・赤い靴ジュニアコーラス 赤隊III
- 「クリスマスキャロル」



2020年実施「クリスマスキャロル」と「よこはまメルヘン・童謡を歌い継ごう」の風景

## 今後のスケジュール

<p>★12月18日(土) 「~中区音楽遊々~」 場所: 関内ホール・小ホール 時間: 15:00~17:30 出演: 上記イベント案内参照 入場料: 一般 1,200円 高校生以下 800円</p>
<p>★12月24日(金)・25日(土) クリスマスキャロル 場所: ヨコハマ グランド インター コンチネンタル ホテル 1階 アトリウム 出演: 赤い靴ジュニアコーラス 時間: 各日 18:00~18:15 無料</p>
<p>★12/31(金) 大晦日 よこはまメルヘン 「童謡を歌い継ごう」 場所: 山下公園内「赤い靴はいてた女の子像」を囲んで 時間: 12/31 23:45~1/1 0:15 参加費: 無料 自由参加</p>
<p>★2022年 2月12日(土)・13日(日) 横浜市民ミュージカル 「忍 SHINOBI 2022 ~ヒーローになりたい君へ」 場所: 関内ホール・小ホール 時間: 12日(土) 1回目 14:00 2回目 18:00 13日(日) 3回目 11:00 4回目 16:00 入場料: 一般 2,300円 高校生以下 1,300円</p>

を「イジンデラ」と言ったと聞きます。私の父も山手にある教会を「トンガリヤソ」と言っていました。私の書いた童話「赤い靴」にも載っていて前にも書いたのですが、市役所の広報課から「ヤソはキリスト教の侮蔑の言葉」だから取り消すようにと言われましたので、お詫びの電話をしたところ神父さんは「その素敵なニックネーム私が貰い私が流行らします」と言われました。また、料理家の平野レミさんのお父さんでフランス文学者の平野威馬雄さんは横浜生まれですが、ハマッ子について「ちよっと変わった江戸ッ子的なお先走りである」と著書「横浜市歌誕生のころ」に書いています。何でもすぐに手を出す人のことを言うのだそうです。私は友人の創った女性マナースクールで平野先生と出会って、NHKのプロデューサーたちと当時話題だった「UFOを見た人の会」に入会したのです。私は本当に桜木町のバス停で待っている時見たのです。私の「あ、UFOだ！」の声に並んでいた人たちも騒ぎになったことがありました。平野先生との出会いで私は横浜にさらに大きな関心をもつようになりました。先生は横浜人は進取の気性に富んでいて、言葉にもすぐ反応し、造語を作りそれを広める。灯台のことを「常灯明」、懐中時計は「ケイチヤン」、ガラスは「ギヤマン」、アイスクリームは「アイスクリン」、お前のことは「オーマイ」、駅は「ステンシヨ」、切符は「テケツ」、電信・電話は「テレグラフ」と言うのだと教わりました。昨年2月公演の横浜市民ミュージカル「横浜どんたく」のタイトルですが、「どんたく」はオランダ語で「ゾンタク」と言い日曜日のことです。その日、外国人はバンドを先頭にお国の旗を立てて横浜の街を行進しました。時が経って横浜では毎日曜日の正午には、野毛から「ドン」と号砲が鳴り渡りました。これは私たちの年代まで続きました。そのことを横浜の人は誰言うとも無く半日休みの土曜日のことを「ハンドン」と言ったのです。

さて私は中学で漢文を習ったとき、素晴らしい四文字を発見しました。それは「衆人皆師」という言葉です。「我以外の人、皆我が先生」、は素晴らしい出会いと座右の銘にしています。新しい方と出会うと先生が増えて嬉しいです。

今年も残り少ない日数になりましたね。18日「中区音楽遊々」、24日・25日「クリスマスキャロル」、31日「よこはまメルヘン」と楽しいプログラムが続きます。また新型コロナウイルス・オミクロン株の行方が懸念されますが、引き続き感染予防対策をしながら乗り越えていきましょう。

2021.11.30 団長 松永 春